

平成28年9月15日
法務省入国管理局

バイオカートの準備状況について（報告）

バイオカート（別紙参照）については、システム改修及び機器配備費用として平成27年度補正予算において886,452千円、操作補助要員費用として平成28年度予算において233,881千円が措置された。

これを受けて、関西空港、高松空港及び那覇空港の3空港において本年10月1日から試行運用を開始し、10月7日から本格運用を開始する予定であり、対象空港については、操作補助員指導職員向け研修を既の実施したほか、今後、システム運用テストを実施する等、所要の準備を進めているところ。

また、操作補助要員については、一般競争入札の結果、3空港全てにおいて民間事業者による業務委託することが決まっており、今後、操作補助員向けの研修を実施予定。

当局としては、今後、定期便の就航する空港にバイオカートを順次導入することを目指しており、平成28年度補正予算（第2号）政府案において配備空港拡大に必要な費用（1,635,616千円）、平成29年度概算要求において補助業務委託費（864,186千円）を要望している。

引き続き、バイオカートの導入など、民間事業者等と連携しつつ、審査手続の迅速化に努めてまいりたい。

以上